

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

2726-R2

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

「反応過程近似解析ツール MiRuDa[※]」による臨床化学検査データの信頼性評価の検証」
※MiRuDa[®]とは、株式会社日立ハイテクノロジーズが開発した臨床化学自動分析装置から出力されるデータを解析するツールです。

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

〔研究の目的〕

臨床化学検査は、検体と試薬を反応させて検査を行います。検査の反応過程を分析機器から反応パターンとして出力することが出来ますので、この反応パターンが色々な状況によってどのように変わるのかを解析することによって、検査結果がより正しく出されているかを知ることが出来ます。今回、このパターンを解析するツールが発売されたので、使用可能か確認します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院に通院・入院中の患者さんで、倫理委員会承認日から平成 30 年 12 月 31 日の間に血液検査(生化学検査)を受けた方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、）、治療内容

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、測定依頼があった検査測定後、どなたの検体か判らないようにした残余検体を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8112 内線 38215 FAX 03-5269-7469

H30 12/31

平成 28 年 9 月 9 日

ご家族への腎臓提供を検討し、心身医療科・神経精神科を受診された方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の業務で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 生体腎ドナー候補者の意思決定に関連する要因

[研究機関] 東京女子医科大学病院心身医療科・神経精神科

[研究責任者] 神経精神科教授・講座主任 西村 勝治

[研究の目的] 臓器提供の意思を決定することにかかわる要因を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる方

2007 年 4 月 1 日から 2016 年 8 月 31 日の間に当院にて生体腎臓移植のための腎臓提供を希望し、心身医療科・神経精神科外来にて、診察を受けた方

●利用する情報

年齢・性別・腎臓を提供する相手（レシピエント）との続き柄、心身医療科・神経精神科での面接記録、問診票の結果など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報にお名前や年齢など個人を同定できる情報は含まれておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当者 小林清香

電話 03-3353-8111 (代) FAX 03-3351-8979

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院へ通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、生化学検査の測定した後の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

- [研究課題名] 膝疾患の診断に用いられる検査項目（リパーゼ）の有用性の比較検討
[研究機関] 東京女子医科大学病院中央検査部 検体検査室
[研究責任者] 東京女子医科大学病院中央検査部 臨床検査科 教授 佐藤 麻子
[研究の目的] 医師から依頼された生化学検査の測定後の残った検体を使って、新しく開発されたリパーゼ試薬を使って測定を行い、現在使用している試薬と同等の結果が出るか検討します。
この研究は、株式会社シテストの受託研究として行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さんの検体

生化学検査の測定後、倫理委員会承認後から平成 29 年 12 月 31 日の間に検体の残余量のある患者さんの検体

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、尿、その他の体液

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名

③血液検査結果：LIP、AMY、P-AMY、T-CHO、TG、HDL、LDL、NEFA、血清 CRP、
肝機能、腎機能、電解質

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部

技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8112 内線 38215)

FAX 03-5269-7469

H29 12/11

平成 28 年 11 月 29 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることと、ご協力いただいた病理標本の再検討によって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 先天性心疾患に合併する微細冠動脈瘻に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

【研究の目的】 先天性心疾患に合併する微細冠動脈瘻の合併頻度、原因および血行動態に与える影響を明らかにすること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

先天性心疾患を有する患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日の間に当科でカテーテル検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、カテーテル検査時年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、カテーテル検査、心電図）、内服内容、手術時期、手術内容。

●保管検体の使用

研究対象となる微細冠動脈瘻が確認され、病理標本にご協力いただいている場合には微細冠動脈瘻の部位に関して微小構造の評価を行います。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報および保管された検体を用いた情報収集をご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 森 浩輝

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた保管検体を利用し過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 サイトメガロウイルス抗体測定試薬2法の性能評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 中央検査部 運営部長 川島 眞

【研究の目的】

サイトメガロウイルス抗体の検査を行う測定試薬が新たに開発されたため、従来試薬と同じ値が出るか性能を評価します。

この研究は、アボットジャパン株式会社からの受託研究で行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

サイトメガロウイルス抗体測定の依頼のあった患者さんで、平成27年11月1日から平成29年12月31日の間に測定され、残余となった血液

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液(血清)

カルテ情報：サイトメガロウイルス抗体

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に保管検体またはカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 管理機構室 担当 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112 (内線 38215) FAX 03-5269-7469

平成 28 年 10 月 20 日

東京女子医科大学附属青山病院循環器内科に過去に通院・入院された
ことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心尖部肥大型心筋症患者における心筋の線維化的負荷の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院

[研究責任者] 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授・講座主任

[研究の目的]

心尖部肥大型心筋症患者の心筋障害（線維化）の病態を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心尖部肥大型心筋症の患者さんで、平成 25 年 8 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日の間に東京女子医科大学附属青山病院で心臓 MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

患者背景（年齢、性別）

検査内容（血液検査、心電図検査、心臓超音波検査、心臓 MRI 検査）

治療内容（薬物治療）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 渡邊 絵里

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 10 月 20 日

東京女子医科大学附属青山病院循環器内科に過去に通院・入院された
ことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 日本人における Myocardial crypt についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院

【研究責任者】 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授・講座主任

【研究の目的】

Myocardial crypt（心筋陰窩）は、心筋にみられる狭い陥凹で、欧米では肥大型心筋症やその遺伝子保持者に多いという報告がありますが、myocardial crypt の頻度や特徴が、人種や肥大型心筋症の種類によって異なるかは不明です。

本研究の目的は、日本人における myocardial crypt の頻度と特徴を検討することです。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 24 年 1 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日の間に東京女子医科大学附属青山病院で心臓 MRI の検査を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

患者背景（年齢、性別、既往歴、家族歴）

検査内容（血液検査、心電図検査、心臓超音波検査、心臓 MRI 検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 渡邊 絵里

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 10 月 11 日

糖尿病眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 慢性腎臓病を有した糖尿病患者における抗 VEGF 硝子体注射前後での
腎機能の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院糖尿病眼科

【研究責任者】 糖尿病眼科 教授 北野 滋彦

【研究の目的】 抗 VEGF 硝子体注射が腎機能に影響を及ぼすか検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当科かかりつけで、2007 年 1 月～2016 年 9 月の間に東京女子医科大学糖尿病センターにて抗 VEGF 硝子体注射を施行された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、糖尿病病型、糖尿病歴、血糖コントロール、服薬状況、血圧、腎機能
糖尿病網膜症病期、抗 VEGF 硝子体注射の目的、抗 VEGF 硝子体注射の施行回数

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病眼科 担当医師 亀田 裕介

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 9 月 6 日

東医療センター 内科・産婦人科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 妊娠糖尿病患者における分娩後耐糖能異常のリスク因子の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター

〔研究責任者〕 内潟 安子 東京女子医科大学 糖尿病センター 教授

〔研究の目的〕

妊娠糖尿病の患者さんの分娩後の糖代謝異常に関連するリスク因子を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

妊娠糖尿病の患者さんとそのお子さんで、平成 24 年 2 月 1 日から平成 28 年 3 月 30 日の間に治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 年齢、糖尿病家族歴、既往歴、妊娠・分娩歴、喫煙歴、魚摂取頻度
- ② 妊娠糖尿病診断週数、50 g GCT、OGTT の結果
- ③ 身長、妊娠前体重・BMI、妊娠中の体重の推移、分娩後の体重
- ④ 血圧
- ⑤ 治療方法
- ⑥ 食事負荷試験の結果
- ⑦ 血糖値、HbA1c 値、グリコアルブミン、インスリン値、CPR 値
- ⑧ 尿定性、尿中アルブミン値
- ⑨ 血糖自己測定値
- ⑩ 総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、遊離脂肪酸、アラキドン酸、エイコサペンタエン酸、ドコサヘキサエン酸、ジホモγリノレン酸
- ⑪ 分娩週数、分娩方法、出生時児体重・分類、胎盤重量、胎盤所見
- ⑫ 母体合併症、母体糖尿病合併症、周産期合併症、胎児・新生児合併症（呼吸障害、低血糖、黄疸、形態異常、NICU 入院など）
- ⑬ 分娩後の OGTT の結果
- ⑭ 母乳栄養

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学糖尿病センター 担当医師 柳沢慶香

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 9 月 7 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 クロウン病に対するカプセル内視鏡を中心としたモニタリング

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 徳重克年 消化器内科 教授・講座主任

【研究の目的】

小腸に病変を有するクロウン病症例において、カプセル内視鏡検査がモニタリングツールとしてどのように寄与しているかを解析します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当科に通院しているクロウン病の患者さんで、平成 24 年 7 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日の間にカプセル内視鏡検査を行った方

●利用するカルテ情報

患者基本情報（年齢、性別、年齢、病歴、診断名、合併症）、治療内容、検査結果、内視鏡所見、画像所見（レントゲン、トモシンセシス、CT）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 大森鉄平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 9 月 7 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 第3世代カプセル内視鏡 PillCam SB3 による読影効率への寄与

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器内科

〔研究責任者〕 徳重克年 消化器内科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

カプセル内視鏡の性能が向上したことが読影効率に対してどのように寄与しているかを解析します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当科に通院し、小腸カプセル内視鏡検査を受けた患者さんで、平成 25 年 12 月から平成 26 年 8 月 30 日の間にカプセル内視鏡検査を行った方

●利用するカルテ情報

患者基本情報（年齢、性別、年齢、病歴、診断名、合併症）、カプセル内視鏡所見、読影データ

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 大森鉄平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成28年8月13日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膠原病関連間質性肺炎合併症例における肺癌術後成績の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院呼吸器外科

【研究責任者】 神崎 正人 呼吸器外科 准教授

【研究の目的】

膠原病患者さんは、高率に間質性肺炎を合併することが知られおり、治療のために免疫抑制剤を使用している方が多くいらっしゃいます。膠原病に合併する間質性肺炎(CVD-IP)は特発性間質性肺炎に比べ、予後は良好と報告されていますが、CVD-IP が肺癌の予後にどの程度影響を与えるかは不明であり、さらに術後の急性増悪の発生率は明らかになっていません。また、免疫抑制剤の使用は術後肺癰の遷延や、気管支断端瘻のリスクを高めるため、膠原病をお持ちの患者さんは肺癌手術を行う際に、ハイリスク患者であると推測されます。今回、CVD-IP 合併患者における肺癌手術の周術期成績と長期予後について調査します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当科に入院歴がある患者さんで、膠原病の既往があり、2003年1月1日から2014年12月31日の間に肺癌手術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、検査結果（血液学的検査、呼吸機能検査、画像検査）、手術記録、病理診断

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科

電話 03-3353-8111 (内線 31125)

担当医師 前田 英之

FAX 03-5269-7333

平成 28 年 9 月 5 日

2014 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日の間に、東京女子医科大学病院を受診された患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 我が国における慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease:CKD）患者に関する臨床効果情報の包括的データベース構築に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院腎臓内科

〔研究責任者〕 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

慢性腎臓病とは、腎臓の働き（糸球体濾過量（GFR: Glomerular Filtration Rate））が健康な人の 60%以下に低下する（GFR が 60 mL/分/1.73 m²未満）か、あるいはタンパク尿が出るといった異常が 3 ヶ月以上続いた状態を言います。この病気が進行すると、腎臓の代わりとなる治療（腎代替療法（腎移植、腹膜透析、血液透析など））が必要になることがあります。さらに、慢性腎臓病の患者さんは、心臓や脳、血管の病気（心臓病や脳卒中など）になりやすいこともわかっています。成人の 10-12%（1000 万人以上）が慢性腎臓病に罹患していると考えられ、新たな国民病として注目されています。その実態を詳細に調査・解析し、有効な予防法や治療法を開発することが緊急の課題となっています。その目的を達成するため、本調査では、2014 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日まで当院を受診し、慢性腎臓病の基準（下記をご参照下さい）を満たした患者さんのデータを、個人情報を除いた状態で抽出し、慢性腎臓病の実態や経過を調査します。

本研究は、新たに加わる身体的及び経済的、医療的負担はありません。この研究は、東京女子医科大学倫理委員会より承認を得ており、厚生労働省の事業（臨床効果データベース整備事業）として、事業経費を用いて研究が行われます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

- 1) 2014年1月1日～2014年12月31日までの当院来院の方
- 2) 18歳以上の方
- 3) 尿蛋白1+以上 又は/かつ 推算 GFR 60 ml/分/1.73 m²未満の方
※推算 GFR (ml/分/1.73 m²) = $194 \times \text{Cr} - 1.094 \times \text{年齢} - 0.287$ (男性)
(女性は $\times 0.739$)
- 4) 又は J-KDR/J-RBR 登録症例

●利用するカルテ情報

年齢や入退院日時、服薬内容や検査データ（尿および採血検査）、処方データ（薬剤名や投与量）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 第四内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 第四内科 担当医師 内田啓子

電話 03-3353-8111-41125 FAX 03-5269-7378

平成 28 年 10 月 6 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 慢性腎臓病の予後因子としての脈圧の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 教授・講座主任

【研究の目的】

慢性腎臓病が将来悪くなる指標として血圧の指標（収縮期血圧、拡張期血圧、脈圧など）について内臓脂肪との関連も含めて検討をする研究です。

慢性腎臓病で通院中の患者様の 10 年後の経過（特にその後透析や腎移植を必要となったか否か）について予後調査をします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2006 年 8 月～2007 年 8 月に、当院腎臓内科外来にて、腹部 CT にて内臓脂肪面積を測定した患者様。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（過去にかかった大きな病気）、検査結果（血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過、最終的に透析や腎移植が必要となったか否か

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 9 月 14 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肝移植後の肝疾患に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器内科

〔研究責任者〕 徳重 克年 東京女子医科大学 消化器内科 教授

〔研究の目的〕

肝移植治療は末期肝硬変（肝炎ウイルス、アルコール、非アルコール、胆汁うっ滞）、代謝酵素欠損疾患（高シュウ酸尿症、高シトルリン血症、Wilson 病）、多発肝嚢胞に施行されている。肝移植後、原病の再発や脂肪性肝障害の合併による肝障害を多く認める。免疫抑制剤の使用や生活習慣による影響が疑われるが、明らかではない。肝移植後の肝疾患の臨床像を明らかにすることを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 12 年 1 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日の間に肝移植治療を受けた方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、既往歴、家族歴、検査結果（血液尿検査、体成分分析、胸腹部レントゲン、超音波、CT、MRI の画像診断結果、上下部消化管内視鏡検査、手術所見、腹水検査、病理検査）。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 小木曾智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 9 月 5 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対するセカンドライン分子標的薬治療後の予後予測因子として治療開始前のC反応性蛋白、好中球リンパ球比、血小板リンパ球比は有用か。

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

転移性腎癌に対して、分子標的治療は生命予後を改善するといわれており、標準的な治療法である。ファーストライン(1次)治療をまず行うが、無効となった場合はセカンドライン(2次)治療に移行する。転移性腎癌やファーストライン治療後の予後予測因子として、C反応性蛋白、好中球リンパ球比、血小板リンパ球比の値は有用とされており、これらはすべて一般的な血液検査にて測定できる。有用な予後予測因子を用いることによって、より効果的に治療戦略を組むことが可能となる。しかし、これらの因子はセカンドライン治療後における予後予測として有用かどうかは定かではない。そこで今回、我々は転移性腎癌に対するセカンドライン分子標的薬治療後の予後予測因子として治療開始前のC反応性蛋白、好中球リンパ球比、血小板リンパ球比の値は有用かどうかを検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2007年1月1日から2016年3月31日の間にセカンドライン分子標的薬治療後を受けた方

●利用するカルテ情報

セカンドライン分子標的薬治療時の年齢、性別、MSKCC risk(転移性腎癌の予後予測に用いられる)、転移臓器の数、C反応性蛋白、好中球リンパ球比、血小板リンパ球比、病期、癌異型度、セカンドライン分子標的薬治療後の無増悪生存期間(治療開始後から癌が増大するまでの期間)、全生存期間(治療開始後からあらゆる原因で死亡するまでの期間)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除し

ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

H29 9/31

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 明治ケトンフォーミュラ 817-B の小児難治性てんかんに対する有効性・安全性・忍容性の検討(後方視的研究)

【研究機関】 東京女子医科大学病院小児科

【研究責任者】 小国 弘量 東京女子医科大学 小児科教授

【研究の目的】

多施設共同の後方視的研究により、我が国で製造・使用されているケトン食用特殊ミルクである明治ケトンフォーミュラ 817-B（以下、817-B）の小児難治性てんかんに対する有効性・安全性・忍容性を検討し、その有効性に関するエビデンスを求めるとともに、817-B を用いる対象や使用方法、使用期間など、いわゆる適正使用に関する提言をまとめる。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

過去 10 年間（2006 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日）に日本てんかん学会ケトンフォーミュラ小委員会の委員が所属する 4 施設（東京女子医科大学小児科、大阪大学小児科、静岡神経・てんかん医療センター小児科、滋賀県立小児保健医療センター小児科）でてんかんに対する治療としてケトンフォーミュラ 817-B を栄養源としたケトン食療法を開始した経口哺乳児または経管栄養児者。

●利用するカルテ情報

- (1) 調査時の年齢、性別、基礎疾患、てんかん発症年齢、てんかんの原因（症候性・潜因性・特発性）、ケトン食開始時のてんかん症候群、発作型（複数の発作があれば全て記載）、発作頻度（複数の発作型の場合は合計の頻度）、脳波異常、ケトン食開始までにてんかん治療に用いた薬剤数。
- (2) ケトン食療法の内容：ケトン食開始年齢、開始時の体重、栄養摂取様式（経口哺乳、経鼻胃管チューブ、経鼻十二指腸チューブ、胃瘻、経口＋経管）、ケトン食開始に伴う併用薬剤（ビタミン、カルニチン、セレン、クエン酸、カルシウムなど）、ケトン食開始時の併用抗てんかん薬。

- (3) 効果：各症例のケトン食治療期間（ケトン食終了まで）において、治療開始後 1、3、6、12、24 ヶ月および本調査時（全施設での倫理審査委員会承認時）までの最終診療時点での効果と血清 β ヒドロキシ酪酸値 ($\mu\text{mol/L}$)、脳波変化。
- (4) 安全性：治療介入を要した副作用について、内容と発現時期。
- (5) 忍容性：ケトン食療法を中止した時期とその理由（無効・再燃・副作用・摂食拒否・治療終結・不明・その他）。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 小国 弘量

電話 03-3353-8111 内 28057 FAX 03-5269-7338

平成 28 年 10 月 11 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肺炎球菌結合型ワクチン接種後に発症した侵襲性肺炎球菌感染症の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院東医療センター小児科

〔研究責任者〕 東医療センター小児科・教授・杉原茂孝

〔研究の目的〕

肺炎球菌結合型ワクチン普及後の侵襲性肺炎球菌感染症（髄膜炎・敗血症）の現状を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 25 年 4 月から平成 28 年 5 月の間に侵襲性肺炎球菌感染症（髄膜炎・敗血症）のために当科にて入院加療をされた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、肺炎球菌ワクチン接種歴、身体所見、検査結果（血液検査、細菌培養結果など）、

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター小児科

担当医師 志田 洋子

電話 03(3810)1111

平成 28 年 10 月 12 日

乳腺・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院におけるステレオガイド下吸引式乳房組織生検
乳腺撮影での石灰化病変に対する MRI 所見の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任

【研究の目的】

マンモグラフィ検診の普及により微細石灰化病変を発見される機会が増加している。当院では2015年6月にマンモグラフィ撮像機器が更新されたことにより、ステレオガイド下吸引式乳房組織生検において様々なアプローチで検査することが可能となった。機器更新から1年が経ち、症例件数も増えたので、現在行なっているステレオガイド下生検のアプローチについて後ろ向きに観察し、検査方法や検査時間を見直し、検査効率向上を目的とする。また、MRIを撮影した症例については画像所見と病理所見を比較し、MRIの有用性について検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成27年6月18日から平成28年8月31日の間にステレオガイド下吸引式乳房組織生検を受けた方

平成25年3月1日から平成28年9月30日の間に乳腺MRIを撮影された方

●利用するカルテ情報

診断名、血液検査結果、画像診断結果、病理診断結果、手術所見、撮影条件、検査方法、検査時間

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

担当医師 中村 泉

電話 03-3353-8111 (内線39966) FAX 03-5269-9247

平成 28 年 12 月 7 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 歯科治療と掌蹠膿疱症・掌蹠膿疱症性骨関節炎の症状改善に関する臨床統計的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

本研究は聖母会聖母病院皮膚科との多施設共同研究です。

【研究責任者】 安藤 智博 東京女子医科大学医学部 歯科口腔外科学教室 教授・講座主任

【研究の目的】 掌蹠膿疱症・掌蹠膿疱症性骨関節炎の患者に対して歯科治療を行った症例を対象とし、その症状改善効果に関する調査をしてその傾向について検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2008 年 7 月 1 日から 2016 年 9 月 30 日までの間に聖母病院皮膚科で掌蹠膿疱症・掌蹠膿疱症性骨関節炎との診断を受け当科で歯科治療を行った患者さん。

●利用するカルテ情報

①性別、②年齢、③皮膚科治療方法、④歯科治療方法、⑤歯科治療部位の歯周病の状態、⑥歯科治療部位の根尖病巣の状態、⑦歯科治療部位のXP像、⑧掌蹠膿疱症・掌蹠膿疱症性骨関節炎の病期期間、⑨掌蹠膿疱症・掌蹠膿疱症性骨関節炎の改善度、⑩歯科治療後の掌蹠膿疱症症状改善までの期間、⑪扁桃摘出の有無、⑫喫煙・禁煙の有無 ⑬歯科金属アレルギーの有無 ⑭皮膚及び骨関節症状に対する併用療法

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 岡本俊宏

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

平成 28 年 9 月 23 日

東京女子医科大学東医療センター外科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある)の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Adjuvant FOLFOX およびXELOX による脾臓容積の変化

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター外科

(日本医科大学付属病院 113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5 日本医科大学付属病院消化器外科)

[研究責任者] 成高義彦 東京女子医科大学東医療センター外科 教授

(日本医科大学付属病院 消化器外科 消化器外科 講師 山田岳史 Tel: 03-3822-2131)

[研究の目的] 術後化学療法終了時の脾腫、類洞障害の程度および化学療法が終了した1年後の脾腫、類洞障害の程度を明らかにすること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

『Stage III 結腸癌治療切除例に対する補助化学療法としての mFOLFOX 6 療法(L-OHP + I-LV+5-FU) /XELOX 療法(L-OHP + Capecitabine)の臨床第Ⅱ相試験(FACOS 試験)(UMIN 000005427)』に同意し登録(2010 年 4 月 1 日-2014 年 4 月 30 日;FACOS 試験)された方

●利用するカルテ情報

腹部 CT; 術後補助化学療法終了1年後、治療開始前、3 および、6 コース終了時(XELOX では2 および4 コース終了時)、治療終了時、治療終了6ヶ月後、治療終了1年後の臨床検査値(以前に研究用としての保管に同意いただいた分)

カルテ情報: 年齢、性別、疾患名、手術名、補助化学療法内容、臨床検査値(AST、ALP、 γ GTP、Plt、CEA、CA19-9)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先] 東京女子医科大学東医療センター外科 講師 横溝 肇 電話 03(3810)111 内線 8953

FAX 03(3894)5493 学内内線番号: 7794 e-mail: hyokosu@dnh.twmu.ac.jp

平成 28 年 10 月 5 日

東京女子医科大学腎臓小児科で診療を受けられた常染色体優性多発性嚢胞腎
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 小児期発症常染色体優性多発性嚢胞腎における早期診断と腎容積測定
の臨床的意義の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科

【研究責任者】 腎臓小児科 教授 服部元史

【研究の目的】

小児常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）の臨床像、腎容積測定の有用性を明らかにし、小児期における早期診断の意義と早期治療介入の可能性を検証すること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2001 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学腎臓小児科を受診し、
15 歳以下で ADPKD と診断された患者さん

●利用するカルテ情報

診断契機、家族歴、高血圧の有無、尿所見、腎機能（身長と血清クレアチニンから算出される推定糸球体濾過率）、腎外合併症（脳動脈瘤、心合併症、肝嚢胞）、最終の慢性腎臓病ステージ分類、CT または MRI 画像に基づいて算出した腎容積

【個人情報の取り扱い】

この研究で利用する情報は、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除しています。したがって、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用されません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 三浦健一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 10 月 5 日

全国の腎移植を受けられた小児患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 本邦小児腎移植の臨床像と移植成績の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓小児科

[研究責任者] 腎臓小児科 教授 服部元史

[研究の目的]

本邦の小児腎移植の成績を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 39 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までに腎移植を受けた方で、移植時に 20 歳未満であった方。

●利用するカルテ情報

移植術を受けた年、移植時年齢、性別、移植腎の種類（生体腎か献腎か。献腎であれば心停止後か脳死下か）、原因疾患、一次移植か二次（三次）移植か、血液型適合性（血液型適合か不適合か）、先行的腎移植（透析療法を経ない腎移植）か否か、腎移植前の透析期間、免疫抑制薬の種類、ドナー年齢、ドナー腎の総阻血時間、生死の別と死因、移植腎機能廃絶の有無と廃絶理由

[個人情報の取り扱い]

この研究で利用する情報は、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除された状態で日本移植学会・日本臨床腎移植学会登録委員会のレジストリーに登録されているものです。したがって、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用されません。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 10 月 1 日

糖尿病センター内科に通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 糖尿病患者の食行動とその行動変容に関連する因子の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院糖尿病センター内科

〔研究責任者〕 内潟安子 東京女子医科大学第三内科学・教授・講座主任

〔研究の目的〕

糖尿病患者さんの食行動と、その影響する因子を調査し今後の栄養指導や食事療法をより良いものとするを目的にしています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

糖尿病の患者さんで、平成 26 年 4 月～平成 28 年現在までに栄養指導の際に、食行動質問票に回答された方

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重
- ②疾患情報：疾患名、治療内容、投薬内容、栄養指導内容
- ③血液検査結果：肝機能、腎機能、脂質、電解質、血糖、HbA1c、尿酸値、血算
- ④尿検査結果：尿一般所見、尿沈渣所見
- ⑤質問票の回答により得られた情報

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病センター内科

担当医師 廣田尚紀

電話 03-3353-8111

平成 28 年 9 月 21 日

東京女子医科大学東医療センター検査科に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「診断前に複数回の検査と生検を要した胃癌症例の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター検査科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター検査科 教授 加藤博之

〔研究の目的〕

2011 年 3 月に改訂された胃癌取り扱い規約により、胃生検の組織診断は新たな分類方式となりました。われわれは、この新分類が導入された後に、当施設で診断された胃癌例のうち複数回の上部消化管内視鏡検査が必要であった症例の特徴を検討します。また、同時期に、初回の検査のみで胃癌と診断できた症例も比較して検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

胃癌の患者さんで、2011 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に当センターで上部消化管内視鏡検査を受けた方

●利用するカルテ情報

上記の胃癌の患者さんのうち、年齢、性別、病変の部位、壁在、肉眼型、組織型（分化型、未分化型）、大きさ、診断までに要した上部消化管内視鏡検査の回数および期間、治療を行った場合はその所見（手術所見、病理組織所見）。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター検査科 担当医師 坂本輝彦

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-0282

平成28年10月29日

母子総合医療センター新生児医学科に通院中（または過去に入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 早産児における簡易持続脳波モニタリングの有用性の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院母子総合医療センター

[研究責任者] 楠田 聡 母子総合医療センター 教授

[研究の目的]

早産児における脳波検査と簡易持続脳波モニタリングの有用性を検討することにより、今後の診療の向上につなげる

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院 NICU へ入院した早産児の患者さんで、平成21年9月1日から平成28年9月30日の間に脳波検査を受けた方

●利用するカルテ情報

母体情報、性別、在胎週数、出生体重、入院後経過、治療内容、検査結果（血液検査、XP 検査、超音波検査、MRI 検査、脳波記録（簡易持続脳波モニタリング記録を含む）、退院後経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院母子総合医療センター新生児医学科

担当医師 今井 憲

電話 03-3353-8111・・・ FAX 03-5269-7668・・・

平成 28 年 11 月 1 日

脳神経外科で覚醒下開頭手術を受けられた患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 覚醒下開頭手術におけるパニック発作に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院麻酔科、同 脳神経外科

[研究責任者] 尾崎 眞 東京女子医科大学 麻酔科学教室 教授

[研究の目的] 覚醒下開頭手術における安全な術中管理法を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院脳神経外科で、平成 11 年 11 月 12 日から平成 28 年 10 月 31 日の間に覚醒下開頭手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- 年齢、性別、身長、体重、主症状、術前全身状態、婚姻・生業の有無、子どもの有無、内服薬
- 既往手術の有無、覚醒下開頭手術の既往の有無
- 脳腫瘍の組織型とグレード、腫瘍位置、臨床経過、腫瘍摘出率
- 麻酔時間、全手術時間、顕微鏡下手術時間、覚醒下手術時間
- 術中気道管理法、術中呼吸管理法、術中水分出納、手術時の生体情報記録
- 麻酔前投薬、術中使用薬剤（鎮静薬、鎮痛薬、局所麻酔薬、筋弛緩薬、循環作動薬）
- 術中神経生理学的モニタリング、術中 MRI 撮影、術中光線力学療法
- 術中有害事象（頭痛・創痛、腰背部痛、けいれん発作、嘔気・嘔吐、精神的ストレス）およびパニック発作の有無とその種類、治療法
- 術後合併症の有無とその種類、治療法

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 尾崎 眞

電話 03-5269-7336 FAX 03-5269-7336

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に通院・入院されているの
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] HISCL™ CK19F 試薬の性能評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院 中央検査部 検体検査室

[研究責任者] 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

[研究の目的] 医師から依頼された腫瘍マーカーCYFRA 検査の測定後の残った検体を使って、新しく開発された CK19F 測定試薬で測定を行い、現在使用している試薬と同等の結果が出るか検討します。この研究は、シスメックス株式会社の受託研究として行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

腫瘍マーカーCYFRA 測定後、倫理委員会承認後から平成 29 年 12 月 31 日の間に
提出された検体の残余量のある患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（プレーン管）

カルテ情報：CYFRA 測定結果

NSE、SCC、ProGRP、CEA

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7469

平成 28 年 4 月 26 日

内科で入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 糖尿病患者における下肢壊疽増悪時の下大静脈径の臨床的意義

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター内科

【研究責任者】 佐倉宏 東京女子医科大学病院東医療センター内科 教授

【研究の目的】

糖尿病下肢壊疽の増悪因子である血糖状態、栄養状態、感染、貧血と心血管指標を調査するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

糖尿病性腎症の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日までに内科で入院した方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、内服薬、注射薬

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター内科

担当医師 佐倉宏

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6258

平成 28 年 4 月 26 日

内科で入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 血管石灰化および尿酸が糖尿病性腎症の腎機能におよぼす影響

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター内科

【研究責任者】 佐倉宏 東京女子医科大学病院東医療センター内科 教授

【研究の目的】

糖尿病性腎症において血管石灰化および尿酸が腎機能における影響を調査するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

糖尿病性腎症の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日までに内科で入院した方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、内服薬、注射薬

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター内科 担当医師 佐倉宏

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6258

平成 28 年 5 月 13 日

血液透析を施行されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 透析患者における酸素飽和度低下指数(ODI)の関連因子

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター内科

[研究責任者] 佐倉宏 東京女子医科大学病院東医療センター内科 教授

[研究の目的]

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) は心血管系疾患の増加をもたらす腎機能の低下に伴い SAS の頻度が増加することが報告されていますが、透析患者では不明です。そこで SAS のスクリーニングとして有効である酸素飽和度低下指数について、その関連因子を検討することで透析患者の SAS の病態を検討することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日に当院にて血液透析を施行された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、血液検査結果、透析記録（透析中の血圧、脈拍、酸素飽和度、患者の状態）、画像診断結果、内服薬および注射薬、酸素飽和度低下指数

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター内科 担当医師 佐倉宏

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6258

平成 28 年 5 月 13 日

内科で入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 大動脈石灰化で分類した慢性腎臓病の腎機能に対する関連因子

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター内科

【研究責任者】 佐倉宏 東京女子医科大学病院東医療センター内科 教授

【研究の目的】

血管石灰化は動脈硬化指標の一つであり心血管死の危険因子となるが腎機能の悪化の関連は不明です。今回、血管石灰化の有無による腎機能への関連因子について検討することを目的としました。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

慢性腎臓病の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日までに内科で入院した方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、内服薬、注射薬

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター内科 担当医師 佐倉宏

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6258

H28 12/31

平成 28 年 10 月 21 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胆管癌、膵癌における Cone Beam CT を用いた 3D シミュレーション画像構築の経験

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 教授・講座主任

[研究の目的]

胆管癌、膵癌に対する Cone Beam CT を用いた術前画像構築の有用性を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胆管癌・膵癌の患者さんで、平成 27 年 9 月 1 日から平成 28 年 1 月 30 日の間に
Cone Beam CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢・性別・施行術式・胆管癌・膵癌病理学的因子・累積生存期間・無再発生存期間
再発様式・術前胆道ドレナージ方法

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科

担当医師 谷澤武久

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 9 月 28 日

第二外科に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 潰瘍性大腸炎関連大腸癌の臨床病理学的特徴の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第二外科

〔研究責任者〕 岡本高宏 第二外科 講座主任

〔研究の目的〕

潰瘍性大腸炎に合併する大腸癌の臨床病理学的特徴の検討を行うため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎の患者さんで、平成 2 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に潰瘍性大腸炎に対する手術を受けた方

●利用するカルテ情報

発症時年齢、性別、病型、罹病期間、手術時年齢、術前治療内容、術前身長・体重、術式、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織学的検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 板橋道朗

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 28 年 10 月 11 日

消化器・一般外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 減圧を要する fStage II/III 閉塞性大腸癌に対する術前大腸ステントの意義に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 消化器・一般外科

【研究責任者】 山本 雅一、消化器・一般外科、教授・講座主任

【研究の目的】

大腸ステント安全手技研究会の参加施設において、日本での閉塞性左側大腸癌に対する大腸ステント留置の意義と長期予後に及ぼす影響を探索する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成22年1月1日から平成26年6月30日の間に、減圧を要するfStage II/III 左側大腸癌に対して、根治手術を含む人工肛門造設術、術前に減圧術として経肛門イレウス管や大腸ステントが行われた症例

●利用するカルテ情報

観察・検査項目および報告すべき治療情報：

観察・検査項目

① 患者背景情報（手術・減圧を含む治療開始時）

年齢

性別

身長

体重

ASA・PS

狭窄状態（大腸閉塞スコア：CROSS 分類）

0：継続的な腸管減圧を要する

1：経口摂取不能

2：水分、経腸栄養剤もしくは完全流動食*が摂取可能

3：食事（低残渣/粥/普通食）摂取可能で、腸管閉塞症状**あり

4：食事（低残渣/粥/普通食）摂取可能で、腸管閉塞症状なし

*：完全流動食とは、ストローなどで飲める状態のものを指す。

**：腸管閉塞症状とは、食事により引き起こされる、腹痛、腹部膨満、悪心、嘔吐、便秘および下痢を指す。

開腹手術既往の有無

② 減圧法

術中減圧のみ

人工肛門

経肛門イレウス管（留置成功：あり、なし）

留置に伴う合併症（穿孔、逸脱、その他：記載のこと）

技術的成功（あり、なし）

臨床的成功（あり、なし）

留置期間（日）

緊急手術（あり、なし）

技術的成功：イレウス管を通して、口側腸管内容の排出を確認

臨床的成功：減圧後に手術が可能

大腸ステント（留置成功：あり、なし）

使用したステントの種類と長径・口径（Wall Flex・Niti-S、mm×mm）

留置に伴う合併症（穿孔、逸脱、その他：記載のこと）

技術的成功（あり、なし）

臨床的成功（あり、なし）

留置期間（日）

緊急手術（あり、なし）

技術的成功：大腸ステントを通して、口側腸管内容の排出を確認

臨床的成功：減圧後に手術が可能

③ 閉塞性大腸癌の口側大腸病変の検索

口側病変検索（あり、なし）

方法（大腸内視鏡検査、注腸造影検査、大腸CT検査、その他）

④ 手術所見

原発巣手術年月日

減圧開始から原発巣切除までの期間（日）

手術アプローチ（開腹・腹腔鏡）

占居部位

術式（結腸左半切除術、下行結腸部分切除術、S状結腸切除術、高位前方切除術、低位前方切除術、直腸切断術、ハルトマン手術）

人工肛門の有無（なし、一時的回腸、一時的結腸、永久回腸、永久結腸）

一時的人工肛門の場合の閉鎖の有無と閉鎖年月日（なし、あり）（閉鎖年月日）

郭清度（D3、D2、それ以外）

根治度（Cur A、Cur B）

腹腔鏡手術の場合の開腹移行の有無/理由

手術時間（分）

出血量 (g)

術中合併症・Grade (JCOG 術後合併症規準・Clavien-Dindo 分類 v2.0 grade2 以上)

⑤ 血液検査

減圧開始前腫瘍マーカー (CEA・CA19-9)

原発巣切除術前白血球数 (好中球数・リンパ球数)

原発巣切除術前ヘモグロビン量

原発巣切除術前 CRP 値

原発巣切除術前 Albumin 値

⑥ 病理診断 (大腸癌取扱い規約 第 7 版)

T

N (転移リンパ節个数/郭清リンパ節个数)

H

P

M

⑦ 術後観察項目

術後合併症・grade (JCOG 術後合併症規準・Clavien-Dindo 分類 v2.0 grade2 以上)

経口摂取 (3 分粥以上) 開始日 (術後病日)

総入院日数 (日) 減圧のための入院と手術のための入院が別の場合は合計を記入

術後在院日数 (日)

⑧ 術後補助化学療法

化学療法 (あり、なし)

化学療法内容 (記載)

予定した化学療法の完遂 (あり、なし) 休薬・減量は許容する

⑨ 転帰

転帰 (無再発生存、担癌生存、原癌死、他癌死、他病死)

最終生存確認年月日

再発 (なし、あり)

再発形式 (肝転移、肺転移、腹膜転移、局所再発などと記載)

再発確認年月日

再発確認方法 (CT、MRI、PET、内視鏡検査、手術、その他)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器・一般外科

担当医師 大木岳志

電話 03-5363-1373 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 11 月 5 日

東京女子医科大学東医療センター外科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある)の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 大腸癌患者における手術前の癌悪液質状態は術後の手術部位に発生する感染症を高率にするか

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター外科

[研究責任者] 東京女子医科大学東医療センター外科 教授 成高義彦

[研究の目的]大腸癌患者さんにおいて、手術前の癌悪液質状態(癌の進行に伴う慢性の炎症状態)の悪化が、手術を行った部位に発生する感染症の発生率を高率にしているかを検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん 平成 20 年(2008 年)11 月 1 日から平成 25 年(2013 年)4 月 30 日の間に大腸癌切除術を受けられた方

●利用するカルテ情報

手術前の情報;性別、年齢、糖尿病および肺機能障害の有無、腸閉塞の有無、患者さんの日常生活の制限の程度に応じた全身状態(Performance Status)分類、手術前の全身状態の分類(American Society of Anesthesiologists)、喫煙歴、身長と体重から求める体格指数(Body mass index)

手術前の血液生化学検査値;血清アルブミン(Alb)値、C 反応性タンパク(CRP)、総コレステロール値、リンパ球数、好中球数、

手術時の情報;緊急手術(緊急/予定)の有無、手術到達方法(開腹手術/腹腔鏡手術)、癌の組織型分類、進行度(早期/進行)、切除部位(結腸/直腸)、合併切除臓器の有無、人工肛門造設の有無、出血量、手術時間

上記患者さんを対象に、癌悪液質の状態を、血清アルブミン(Alb)値と C 反応性タンパク(CRP)から判断します。手術部位に発生する感染症の発生頻度を調査し、上記全ての検討項目との関連を統計学的に検討し、癌悪液質状態が統計学的に有意な手術部位に発生する感染症の危険因子か検証します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター外科 担当医師 吉松和彦 横溝肇 矢野有紀 岡山幸代

電話 03(3810)111 内線 8953 FAX 03(3894)5493

平成 28 年 10 月 26 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、以前に採血された血液の
残余を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問
い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] RIA 法と ELISA 法による GAD 抗体結果判定と 1 型糖尿病患者の臨床的特
徴の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科

[研究責任者] 東京女子医科大学 第三内科学 教授・講座主任 内潟 安子

[研究の目的]

1 型糖尿病の診断方法について検証し、臨床的特徴について検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1 型糖尿病の患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に東京女
子医科大学糖尿病・代謝内科に入院および外来通院された糖尿病患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（必要な検査を実施したあとの残余）

カルテ情報：性別、年齢、検査結果(血液検査、尿検査、生理学検査、手術記録)、糖
尿病型、身体所見、罹病期間、合併症の状況、既往歴、透析導入、インスリン導入、
膵臓移植などの治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除し
ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で
きる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以
下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第三内科学 担当医師 高木 聡 または 三浦順之助

電話 03-3353-8111(代) FAX 03-3358-1941

平成 28 年 10 月 20 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 植込み型除細動器植込み患者における作動のリスク因子と予後に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授・講座主任

【研究の目的】

両室ペーシング治療による心機能改善効果および予後予測因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 2 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に、植込み型除細動器植込み術を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 11 月 9 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 新規心機能低下心不全患者における致死的不整脈イベント発生率と予後に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 教授・講座主任 萩原誠久

【研究の目的】

新規心機能低下心不全患者に対する薬物治療の治療効果と突然死の関連因子を明らかにすること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日の間に、新規心機能低下を伴う心不全と診断された患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 11 月 9 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ランジオロールによる治療効果と予測因子に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 教授・講座主任 萩原誠久

[研究の目的]

頻脈性不整脈に対するランジオロールの治療効果とその関連因子を明らかにすること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日の間に、頻脈性不整脈に対してランジオロール静注投与を行った患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 9 月 1 日

東医療センターにて X 線検査および CT 検査を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

散乱線補正処理技術 IntelligentGrid による散乱線補正効果についての検討

[研究機関]

東京女子医科大学東医療センター 放射線科

[研究責任者]

上野 恵子 放射線科 教授

[研究の目的]

X 線検査にて散乱線除去用グリッドを使用せずに撮影する散乱線補正処理技術の有用性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2016 年 1 月 1 日から 2016 年 8 月 31 日までの間に、東京女子医科大学東医療センターにて散乱線補正処理技術 IG を使用した X 線撮影を受け、かつ X 線撮影の前後 1 か月以内に CT 検査を受けた患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、体重、X 線画像、CT 画像

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当 佐藤 圭太
電話 03-3810-1111 (内線 7181) FAX 03-3894-0282

平成 28 年 11 月 14 日

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 痛風診療における画像診断の有用性についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター所長

[研究の目的] 痛風における画像診断の臨床的有用性を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2005 年から 2016 年 8 月までに東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターに通院された痛風患者さんで関節超音波検査や dual energy CT 検査を受けたことがある方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、痛風罹病期間、BMI、飲酒歴、痛風結節の有無、痛風発作の既往と部位、血清尿酸値 (画像検査前 5 年間の結果、過去最高血清尿酸値)、高尿酸血症の病型、尿酸降下薬の種類と投与量、合併症 (肥満、尿路結石、腎機能障害、高血圧、脂質異常症、糖代謝異常、動脈硬化性疾患、変形性関節症)、画像診断所見 (骨エックス線、関節超音波検査、dual energy CT)、尿酸降下薬服薬状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 谷口敦夫

電話 03-5269-1711

平成 28 年 11 月 10 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「小径腎癌（cT1a）の予後規定因子に関する検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

日常診療下での小径腎癌（cT1a 腎癌）予後予測因子を臨床的に検討することを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎がんの患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の間に腎癌の手術治療を受けて、手術時に転移を認めた、あるいは手術後に転移を認めた患者さん。

●利用するカルテ情報

- 患者背景：生年月日、性別など
- 病歴調査
- 問診および理学所見、臨床データおよび臨床検査データなど
- 術前後の CT もしくは MRI などの画像診断所見など
- 治療方法（手術術式、薬物療法、放射線療法など）など
- 腎癌の組織分類・Grade・pTNM 分類評価（中央病理に基づく）など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 8 月 31 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

胃全摘術あるいは噴門側胃切除術を受けた胃癌患者における栄養状態の評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 第二外科学講座

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院 第二外科 岡本高宏

〔研究の目的〕

胃切除術後の骨格筋量を測定し、栄養状態の評価を行うため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1999 年 4 月から 2016 年 8 月までに胃切術を第二外科で行った患者さん。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、術式、治療内容

検査結果（採血、体液組成分析検査）、手術時期、画像検査情報（CT 検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 第二外科 担当医師 藤本美樹子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 28 年 11 月 11 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 両室ペーシングによる慢性心不全患者の治療効果と予後に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授・講座主任

[研究の目的]

両室ペーシング治療による心機能改善効果および予後予測因子を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院通院中の慢性心不全の患者さんで、平成12年1月1日から平成27年12月31日の間に、当院で両室ペーシング治療を行った方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、エコー所見）、内服歴、生命予後および入院歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 10 月 11 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 膵中央切除術後の膵機能の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一、消化器外科、教授

〔研究の目的〕

膵切除術による術後の膵機能・栄養状態の低下は以前より指摘されており、一部の膵の低悪性度腫瘍に対しては術後の膵機能温存を企図して膵中央切除術が選択されることがありますが、膵中央切除術の膵機能温存に対する短期的・長期的な意義は未だ明らかとなっていません。今回我々は、膵中央切除術後の短期的・長期的な膵機能・栄養状態について、尾側膵切除術と比較し、その有効性を検討し、今後の患者さんの術式選択に寄与することを目的とします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2005 年 1 月から 2015 年 12 月までの間に東京女子医科大学消化器外科にて膵中央切除術または尾側膵切除術を施行した患者さん。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、原疾患、術式、身体所見、検査結果（血液検査など）、糖尿病の有無、膵消化酵素の有無、脂肪肝の有無

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 出雲渉

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 11 月 15 日

糖尿病センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 2 型糖尿病患者さんにおいて心房細動に関係する因子を検討する

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病センター

[研究責任者] 糖尿病センター 教授 講座主任 内潟 安子

[研究の目的]

2 型糖尿病における心房細動の実態を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2 型糖尿病の患者さんで平成 16 年 1 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日の間に糖尿病センターを初診し心電図を行った方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見（身長、体重）、血圧、診断名、既往歴、治療内容、12 誘導心電図、血液生化学検査（血糖、HbA1c、総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、尿酸）、神経検査（腱反射）、眼底検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病センター 担当医師 大武 幸子

電話 03-3353-8111 内線 27117 FAX 03-3358-1941

「後ろ向き観察研究」用 情報公開用文書

平成 28 年 11 月 16 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 複雑心奇形に合併した 2 つの房室結節を介する房室回帰性頻拍に対するカテーテルアブレーションの効果

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

【研究の目的】 2 つの房室結節を介する房室回帰性頻拍を生じる複雑心奇形に対しうるカテーテルアブレーションの短期及び長期成績を検討する事。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

複雑心奇形を有し、頻拍発作の既往や心電図所見から 2 つの房室結節の存在が強く疑われ 1992 年 7 月から 2016 年 10 月までの間に電気生理学的検査を受けた方。

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、手術歴、不整脈の既往、手術時年齢、心電図所見、電気生理学的検査所見、アブレーションおよび不整脈手術の治療内容と結果、予後、合併症の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 竹内 大二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成28年11月14日

東京女子医科大学東医療センター整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肩関節唇損傷におけるスポーツ障害とMRIによる解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター整形外科

〔研究責任者〕 千葉 純司、東京女子医大東医療センター整形外科教授

〔研究の目的〕 肩関節唇損傷におけるスポーツ障害の原因を調べるため MRI により関節唇の状態を調べ、手術所見や術前および術後症状と比較検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

肩関節唇損傷の患者さんで、2003年4月1日から2016年8月31日の間に肩関節唇損傷にて手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、スポーツの種類レベル、障害程度、復帰までの期間、復帰程度

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター整形外科

担当医師 神戸克明

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-9934

平成 28 年 10 月 28 日

東京女子医科大学病院に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 妊娠前カウンセリングをうけた糖尿病女性の妊娠と糖尿病に関する知識の実態調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学糖尿病センター

〔研究責任者〕 内潟 安子 東京女子医科大学 糖尿病センター 教授

〔研究の目的〕

糖尿病合併妊娠では、母体の血糖コントロールが不良であると母児に様々な合併症が起きます。このため、糖尿病のある女性は妊娠前から血糖コントロールや合併症の管理を行い、計画的に妊娠することが勧められます。計画妊娠を行い、母児合併症を防ぐため、挙児希望のある糖尿病女性に対して、妊娠前にカウンセリングを行うことが有効です。挙児希望のある女性の妊娠と糖尿病に関する知識に関して、アンケート調査を行い、実態を把握し、今後のよりよいカウンセリングのために生かします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2009年から2010年までの間に東京女子医科大学病院に通院または入院し、妊娠前カウンセリングをうけた挙児希望がある糖尿病女性

●アンケート

糖尿病と妊娠に関する知識の有無とその情報源についての回答

●利用するカルテ情報

- ① 年齢、妊娠・分娩歴
- ② 糖尿病のタイプ、糖尿病発症年齢、糖尿病罹病期間
- ③ 身長、体重、BMI
- ④ 治療方法
- ⑤ 血糖値、HbA1c値、グリコアルブミン、インスリン値、CPR値
- ⑥ 尿定性、尿中アルブミン値
- ⑦ 糖尿病網膜症

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報を利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病センター 担当医師 柳沢慶香

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 10 月 22 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 下大静脈腫瘍塞栓を伴った腎癌に対する分子標的薬の効果の検証

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 泌尿器科 教授 田邊 一成

【研究の目的】

下大静脈腫瘍塞栓を伴った腎癌に対して分子標的薬がどの程度効果があるかを検証する。

●対象となる患者さん

下大静脈腫瘍塞栓を伴った腎細胞がん患者さんで、2008 年 6 月から 2015 年 9 月までに分子標的薬治療を受けた方。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT, MRI）
- ②病理検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 福田 洋典

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 11 月 24 日

リウマチ・膠原病内科に通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 急性前部ぶどう膜炎に合併する脊椎関節炎についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センターリウマチ・膠原病内科

【研究責任者】 瀬戸 洋平

東京女子医科大学八千代医療センターリウマチ・膠原病内科 診療科長

【研究の目的】

急性前部ぶどう膜炎における脊椎関節炎の臨床像を明らかにする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

急性前部ぶどう膜炎に脊椎関節炎を合併した患者さんで平成 18 年 12 月 8 日から平成 28 年 10 月 30 日の間に東京女子医科大学八千代医療センターリウマチ・膠原病内科を受診された方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容、合併症

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センターリウマチ・膠原病内科 担当医師 瀬戸洋平

電話 047-450-6000

平成 28 年 11 月 24 日

リハビリテーション科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の

患者さんのご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「新生児集中治療室入院を要したハイリスク児の運動機能獲得時期と影響を及ぼす因子についての検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

[研究責任者] 猪飼哲夫 東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授

[研究の目的] 新生児集中治療室に入院を要した新生児の運動機能の獲得時期とそれに影響を及ぼす因子についての検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学母子総合医療センター・新生児集中治療室に入院していた患者さんで、平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの間にリハビリテーションを開始し、その後リハビリテーション科の外来で歩行獲得まで発達評価を継続された方

●利用するカルテ情報

- ① 基本情報；診断名、合併症、性別、在胎期間、出生体重、出生予定日、人工呼吸器管理日数、酸素使用日数、在宅酸素使用の有無、無呼吸の頻度、手術の有無、頭部エコー所見、頭部 MRI 所見、発育状況、哺乳開始日、自律哺乳開始日 入院期間
- ② 理学療法評価所見（General Movements、新生児神経学的評価、覚醒状態、自己沈静能力、姿勢・運動の特徴、筋緊張、関節可動域制限、感覚）
- ③ 運動獲得月齢（定頸／AirPlane／仰臥位にて手で足を持つ／寝返り／座位保持／腹這い／起き上がり／四つ這い／捕まり立ち／独歩）
- ④ コミュニケーション能力、遊び方

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

教授 猪飼哲夫

担当理学療法士 長谷川三希子

電話 03-3353-8111 内線 20131 FAX 03-5269-7639

本院患者さんへの情報公開用文書

「MI-001（膵・胆道癌の診断用マイクロ RNA 発現パターン解析キット）の臨床性能試験の研究」についてのご説明

研究の目的

膵・胆道癌の診断用マイクロ RNA 発現パターン解析キット MI-001 を用いた検査の、膵・胆道癌の診断補助における有用性を検討します。

対象となる患者さん

2016 年 9 月から 2017 年 3 月までに当科で行った臨床研究「膵・胆道癌患者の血清由来マイクロ RNA 発現を用いた検出マーカーの研究」に同意された方のうち、データや検体の二次利用に同意された方が対象です。

研究内容と方法

先行研究を行った「膵・胆道癌患者の血清由来マイクロ RNA 発現を用いた検出マーカー」が、「高感度で膵臓癌、胆道癌を検出できる新たな診断マーカー」として有用かを評価し、より早期の癌を発見したり、負担の大きい検査の実施を決断する際にその判断の補助となりえるかを検討するための研究です。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、倫理委員会の承認のうえ実施されます。当院を含む国内の多施設で共同研究を行っており、当院及び参加施設の倫理委員会で承認されています。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査、病理検査などのデータと、先行研究である「膵・胆道癌患者の血清由来マイクロ RNA 発現を用いた検出マーカーの研究」で収集した検体を用いて行う研究です。そのため、特に患者さんに新たに負担頂くことはありませんが、謝金もありません。

研究期間

倫理委員会承認後から平成 32 年 07 月 30 日まで。

患者さんの個人情報の管理について

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの人体試料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室および国立がんセンター東病院検体保管庫において厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行います。

患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の処置について

この研究のためにご自分のデータを使用して欲しくない場合は主治医にお伝え頂くか、下記の研究事務局まで平成 28 年 3 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡を頂かなかった場合、ご了承頂いたものとさせていただきます。

研究結果の公表

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上等で公表します。

主任研究施設名

研究統括医師：国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院肝胆膵内科
医長：光永修一

問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学病院 消化器内科
高山敬子
電話：03-3353-8111（代表）

平成 28 年 10 月 17 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肥大型心筋症患者を対象とした全国登録調査研究(J-HCM レジストリー研究)

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科 他全国 19 施設

[研究責任者] 北岡 裕章 高知大学医学部 老年病・循環器内科学 教授

[当院の研究責任者] 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科学教室 教授・講座主任

[研究の目的]

肥大型心筋症の患者さんの実態を調査し、今後の診療の改善に役立てるため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院倫理審査委員会承認日から平成 34 年 3 月までの間に東京女子医科大学循環器内科に通院あるいは入院された患者さん。

●利用するカルテ情報

年齢・性別・身長・体重など患者さんの基本情報：診断名および併存疾患：身体所見および理学検査所見：臨床検査値：画像診断結果：治療内容：予後など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 南 雄一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 10 月 31 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 生後 90 日以内の新生児又は乳児早期における単純総肺静脈還流異常症の手術成績の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 心臓血管外科

[研究責任者] 山崎 健二（心臓血管外科，教授・講座主任）

[研究の目的]

新生児期又は乳児期早期に手術介入を行った複雑心疾患を伴わない単純型総肺静脈還流異常症の手術成績とその危険因子について評価する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

複雑心疾患を伴わない単純型総肺静脈還流異常症と診断された患者さまで、1985 年 1 月 1 日から 2011 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学 心臓血管外科で単純総肺静脈還流異常症に対する修復手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、性別、手術時年齢、手術時身体所見（身長や体重等）、出生時体重、在胎日数、既往手術歴、胎児診断の有無、術前症状の記載内容、術前使用薬剤、術前検査（採血、動脈血液分析、心電図、胸部レントゲン検査、心臓エコー検査、CT 検査、心臓カテーテル検査等の造影検査）、緊急手術の有無、手術記事（手術方法や人工心肺の詳細等について）、術後検査（採血、動脈血液ガス分析、心電図、胸部レントゲン検査、心臓エコー検査、CT 検査、心臓カテーテル検査等の造影検査）、剖検例の記載内容、外来や入院時カルテの記載内容、退院時サマリー等

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 心臓血管外科 担当医師 長嶋 光樹

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 11 月 25 日

耳鼻咽喉科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 当科における耳下腺唾石内視鏡下手術の治療成績に関する臨床研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院耳鼻咽喉科

〔研究責任者〕 野中 学 耳鼻咽喉科 臨床教授

〔研究の目的〕

耳下腺唾石における唾液腺内視鏡手術の治療成績を調査するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

耳下腺唾石症の患者さんで、平成 21 年 1 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日の間に唾液腺内視鏡の手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、既往歴、唾石の大きさ、唾石の存在部位、内視鏡での摘出の可否、手術方法、内視鏡で摘出できなかった理由。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科 担当医師 近藤律男

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7351

平成 28 年 11 月 25 日

耳鼻咽喉科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当科における顔面神経減荷術の効果に関する臨床研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院耳鼻咽喉科

【研究責任者】 野中 学 耳鼻咽喉科 臨床教授

【研究の目的】

重症顔面神経麻痺における顔面神経減荷術の効果を調査するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

重症の末梢性顔面神経の患者さんで、平成 23 年 8 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に顔面神経減荷術の手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、既往歴、顔面神経麻痺スコア（柳原法）、検査結果（顔面筋電図検査、アブミ骨筋検査）、手術前の治療、発症から手術までの日数。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科 担当医師 近藤律男

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7351

平成 28 年 10 月 22 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 腎摘除術後の予後予測因子としての術前BMIのインパクトは、透析患者とそうでない患者で違いがあるか？

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

〔研究の目的〕

身長と体重から算出される術前の Body Mass Index (BMI) は散発性腎癌の手術を受ける患者さんの予後予測因子としての有用性が示唆されています。一方、透析患者さんの腎癌における術前 BMI の予後予測因子としての有用性はまだわかっていません。今回、この研究において我々は、腎摘除術を受けた腎癌患者さんにおける術前 BMI の予後予測因子としてのインパクトが、透析患者さんとそうでない患者さんとの間で違いがあるのか検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎癌の患者さんで、1979 年 1 月 1 日から 2016 年 10 月 22 日の間に腎摘除術を受けた方

●利用するカルテ情報

術前の年齢・性別・血液検査の結果、腎癌の組織型、全生存期間(手術施行後から死亡するまでの期間)、癌特異的生存期間(手術施行後から腎癌で死亡するまでの期間)など。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 大前憲史 電話 03-3353-8111 (内線
36441) FAX 03-3356-0293

平成 28 年 11 月 28 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 冠動脈石灰化病変に対するロータブレーター使用症例の多施設での予後に関する後ろ向き検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 教授 講座主任 萩原誠久

【研究の目的】

ロータブレーターの治療効果を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

冠動脈狭窄の患者さんで、平成 16 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間にロータブレーターの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、リスクファクター、内服薬、冠動脈治療歴、心筋梗塞発症歴、心機能、心房細動の有無、腎不全の有無、血液検査所見 (HbA1c、LDL-C、HDL-C、TG、Cre、Hb、BNP、CRP)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 重城健太郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 11 月 1 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理標本を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 髄膜腫の性ホルモンレセプターの研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院東医療センター

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター 脳神経外科 教授 糟谷英俊

〔研究の目的〕

髄膜腫の治療を受けられた患者さんの病理組織像から性ホルモンレセプターの発現と病理像、臨床像、再発などとの関係を検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

髄膜腫の患者さんで、平成 19 年 4 月 1 日から平成 28 年 10 月 30 日の間に髄膜腫の手術を受けられた方

●利用する検体およびカルテ情報

病理組織標本

カルテ情報：性、年齢、既往歴、経過など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 担当医師 糟谷英俊

電話 03-3810-1111 (6135) FAX 03-3819-8680

平成 28 年 10 月 21 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 80 歳以上の高齢者肺癌における完全胸腔鏡下肺葉切除の術後成績

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院呼吸器外科

〔研究責任者〕 神崎 正人 呼吸器外科 准教授

〔研究の目的〕

高齢化社会に伴い、高齢者の方に対する肺癌手術は年々増加傾向にあります。肺癌に対する標準的な根治手術は肺葉切除ですが、手技の普及に伴い、近年では胸腔鏡下に肺葉切除を行う施設も増えています。胸腔鏡下手術は低侵襲な手術であり、高齢者における術後合併症を減らすことが期待される一方、長期予後についても十分検討していく必要があります。今回、80 歳以上の高齢者の方における、胸腔鏡下肺葉切除の周術期成績、長期予後について調査します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当科に入院歴がある患者さんで、2006 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に、手術時の年齢が 80 歳以上で、肺癌に対する完全胸腔鏡下肺葉切除を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、検査結果（血液学的検査、呼吸機能検査、画像検査）、手術記録、病理診断

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科
電話 03-3353-8111 (内線 37111)

担当医師 前田 英之
FAX 03-5269-7616

平成 28 年 10 月 24 日

血液浄化療法科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 慢性維持透析患者におけるフレイル・サルコペニアの検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院血液浄化療法科

[研究責任者] 土谷 健 東京女子医科大学血液浄化療法科 教授

[研究の目的]

慢性維持透析患者におけるフレイル・サルコペニアの頻度および関連因子の検討

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2016 年 4 月～7 月の間に当院にて外来維持透析を行った患者様

●利用するカルテ情報

医療記録（年齢、性別、透析歴、身長、体重、既往歴）、多周波インピーダンス測定結果測定結果、握力、歩行速度、採血結果（Alb、Cre、Hb、Hct、コレステロール、BUN、Ca、P、トランスフェリン、トランスサイレチン）、ABI・SPP 測定結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液浄化療法科 担当医師 土谷 健

電話 03-3533-8111（内線 20251） FAX 03-5269-7368

平成 年 月 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療上必要として保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 SM1 食道癌の定義と病態に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器外科

【研究責任者】 山本雅一 消化器外科 教授

【研究の目的】

SM1 および SM2 癌を対象として、病理医による病理組織学的診断を行い、SM1 癌の病態を検討することにより、SM1 癌の定義及び治療方針の妥当性を検討することを目的としている。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

食道癌の患者さんで、2003 年 4 月 1 日から 2011 年 12 月 1 日の間に内視鏡的切除または外科的根治切除が行われた症例の、切除標本のプレパラートの保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：切除標本のプレパラート

カルテ情報：

年齢、性別、治療法、占拠部位、追加治療、再発および再発形式、予後、生存期間

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科

担当医師 工藤健司

電話 03-3353-8111

FAX03-5269-7507

平成 28 年 12 月 1 日

糖尿病代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 発症年代別にみた 1 型糖尿病の臨床像

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

[研究責任者] 内潟安子 東京女子医科大学 糖尿病代謝内科 教授・講座主任

[研究の目的]

1 型糖尿病患者さんの肥満度や血糖コントロール状況を糖尿病発症年代ごとに調査する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1 型糖尿病の患者さんで、1970 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日の間に 15 歳以上 30 歳未満で 1 型糖尿病を発症した方

●利用するカルテ情報

生年月日、性別、身長、体重、糖尿病家族歴、疾患名、糖尿病発症日、インスリン使用量、血糖、HbA1c、膵島関連自己抗体価、脂質

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科 担当医師 保科早里

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 9 月 9 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 新規機械学習を用いた神経腫瘍に関する各種因子と予後分析に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

【研究の目的】 神経腫瘍に関する各種因子（年齢、腫瘍の種類、グレード、摘出率など）と予後（再発の有無や生存期間など）がどのように関連しているか機械学習(deep learning 等)を用いて調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

神経腫瘍の確定診断がついた患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8112(43003) FAX 03-5312-1844

平成 28 年 10 月 21 日

放射線科 CT 室で検査をおこなう（または過去におこなったことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 Fast kV switching Dual Energy CT における最適撮影条件選択機構に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター放射線科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター 放射線科教授 上野 恵子

〔研究の目的〕

Fast kV switching Dual Energy 撮影における最適撮影条件を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 28 年 7 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の間に Fast kV switching Dual Energy 撮影による造影 CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、画像診断検査結果（CT 画像）、身長、体重

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当 田中 功

電話 03-3810-1111（内線 8900） FAX 03-3894-0282

平成 28 年 11 月 7 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 慢性腎臓病の予後因子としての尿酸の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 教授・講座主任

【研究の目的】

慢性腎臓病が将来悪くなる指標としての尿酸について内臓脂肪との関連も含めて検討をする研究です。

慢性腎臓病で通院中の患者様の 10 年後の経過（腎機能が低下したかどうか、透析や腎移植を必要となったか否か）について予後調査をします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2006 年 8 月～2007 年 8 月に、当院腎臓内科外来にて、腹部 CT にて内臓脂肪面積を測定した患者様。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（過去にかかった大きな病気）、検査結果（血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過、最終的に透析や腎移植が必要となったか否か

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 11 月 7 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 慢性腎臓病の予後因子としてのメタボリックシンドロームの検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 教授・講座主任

[研究の目的]

慢性腎臓病が将来悪くなる指標としてのメタボリックシンドロームについて内臓脂肪との関連も含めて検討をする研究です。

慢性腎臓病で通院中の患者様の 10 年後の経過（腎機能が低下したかどうか、透析や腎移植を必要となったか否か）について予後調査をします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2006 年 8 月～2007 年 8 月に、当院腎臓内科外来にて、腹部 CT にて内臓脂肪面積を測定した患者様。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（過去にかかった大きな病気）、検査結果（血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過、最終的に透析や腎移植が必要となったか否か

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 11 月 1 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションの安全性と有効性に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 循環器内科

【研究責任者】 萩原 誠久 循環器内科 教授・講座主任

【研究の目的】

これまでに行われた頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションの安全性と有効性を検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

頻脈性不整脈の患者さんで、平成 7 年 1 月 1 日から平成 28 年 10 月 30 日の間にカテーテルアブレーション治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、罹患歴、家族歴、生活歴、職歴
- ②疾患情報：疾患名、手術名、治療内容
- ③血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、血算、凝固能、内分泌検査、BNP
- ④画像検査所見：X線検査、CT、MRI、心エコー、核医学検査、PET
- ⑤生理検査所見：12誘導心電図、ホルター心電図、モニター心電図、心内心電図、加算平均心電図
- ⑥治療対象不整脈の転帰
- ⑦治療の対象ではない不整脈の発生
- ⑧有害事象の発生
- ⑨患者の転帰
- ⑩通院状況

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 臨床教授 庄田守男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 11 月 7 日

耳鼻咽喉科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 交代性顔面神経における先行麻痺側後遺症へのリハビリテーション介入

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター耳鼻咽喉科

【研究責任者】 須納瀬 弘 （東医療センター耳鼻咽喉科 教授）

【研究の目的】

●交代性・反復性顔面神経麻痺の疫学的研究

ごくまれですが、顔面神経麻痺が時間をおいて、反対側や、繰り返し同じ側におこることがわかっています。片側だけ、一回きりの患者さんとの違いを探します。

●以前の麻痺による後遺症へのリハビリテーションの方法と効果の検討

顔面神経麻痺は、顔が動き始めても、目と口が一緒に動く、こわばり、けいれん、なみだ目など「後遺症」と呼ばれる症状が残ることがあります。新しく起こった麻痺と同時に、以前の麻痺による後遺症のリハビリテーションを行う効果を検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

顔面神経麻痺のために、平成 22 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に治療・検査を受けた方。

●利用するカルテ情報

顔面運動の経過（麻痺・後遺症のレベルを匿名・数値化したデータを利用）、血液検査、MRI など画像検査、筋電図など生理検査です。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10 東京女子医科大学東医療センター耳鼻咽喉科
担当医師 金子 富美恵 電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-7988

平成 28 年 11 月 1 日

消化器・一般外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、以前手術で摘出し当院に保存してある腫瘍組織の病理標本を研究用試料として利用させていただきます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタビン療法と S-1 療法の第Ⅲ相比較試験(JASPAC01)の付随研究・膵がん切除例における補助化学療法の効果予測因子および予後因子に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器・一般外科

【研究責任者】 山本 雅一 消化器・一般外科 教授・講座主任

【研究の目的】

JASPAC 01 研究に参加された患者さんの遺伝子の発現状況とタンパク発現量を調べ、より治療効果が期待できる膵がん患者さんを特定することを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

膵癌の患者さんで、平成 19 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に膵癌の手術を受けられ、JASPAC01 試験に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術残余標本

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査）、疾患情報、治療経過、自他覚所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器・一般外科 担当医師 谷澤 武久

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成29年4月1日

患者の皆様・ご家族の皆様へ

後方視的研究へのご協力のお願い

眼科では、過去に下記のような診療を受けていただいた患者様のデータを用いた臨床研究を行います。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究課題名：後期高齢者および超高齢者の糖尿病患者における眼科診療の実態調査

研究目的：上記の治療および予後の実態を調査する

研究概要：

後期高齢者（75歳以上）および超高齢者（85歳以上）では糖尿病網膜症が新規に発症したり進展したりする可能性が低いと考えられますが、それを証明した研究データは存在しません。もしそれをデータで示せば、これまで年齢を考慮せず同一の基準で行われてきた糖尿病の方の眼科への通院頻度を減らし、患者の皆様の負担を軽減することができるのではないかと考えられます。そこで、当センターに通院している高齢者の方の糖尿病網膜症がどのようになっているか（進行しているのか何年も変わらないのかなど）、調査をおこないます。

対象となる方：平成29年4月1日時点で満75歳以上で、当センターに通院中の糖尿病の方

公示期間：平成29年4月1日 ～平成31年3月31日

研究への参加辞退をご希望の場合：

この研究に関して新たに皆様に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当センターにおいて既に管理している皆様のデータをカルテに基づき収集し、使用させていただきます。個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。しかし本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。本研究への参加は皆様の自由意思であり、参加の辞退を希望されても不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、上記の公示期間内に下記の担当医師へご連絡下さい。なお、公示期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。

東京女子医科大学糖尿病センター眼科
電話番号 03-3353-8111（代表）
担当医師：北野滋彦

平成 28 年 11 月 7 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における小細胞肺癌手術症例の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院呼吸器外科

【研究責任者】 神崎 正人 呼吸器外科 准教授

【研究の目的】

肺癌診療ガイドラインによれば、I 期の小細胞肺癌は、手術療法の適応とされています。しかし、術後の永久標本で初めて、小細胞肺癌と診断される場合もあり、結果的に II 期以上の方も手術を行われる方もいらっしゃいます。今回、当院における、小細胞肺癌手術症例の長期予後について調査します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当科に入院歴がある患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に、原発性肺癌に対する手術を受け、小細胞肺癌と診断された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、検査結果（血液学的検査、呼吸機能検査、画像検査）、手術記録、病理診断

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科

担当医師 前田 英之

電話 03-3353-8111（内線 37111）

FAX 03-5269-7616

平成 28 年 12 月 12 日

東京女子医科大学糖尿病内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 2 型糖尿病患者における GLP-1 受容体作動薬の脂質異常症に対する有効性に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科

【研究責任者】

内潟 安子 東京女子医科大学内科学（第三）（糖尿病・代謝内科）・教授・講座主任

【研究の目的】

2 型糖尿病の治療薬である GLP-1 受容体作動薬の、脂質異常症に対する効果を分析するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2 型糖尿病の患者さんで、平成 22 年 12 月から平成 27 年 12 月の間に GLP-1 受容体作動薬の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、投与された GLP-1 受容体作動薬の種類、体重、身長、BMI、HbA1c、LDL-コレステロール、HDL-コレステロール、総コレステロール、中性脂肪、服薬状況

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

担当医師 長谷川夕希子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 12 月 12 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児期発症の洞不全症候群へのナトリウム遺伝子異常の関与と臨床像

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 循環器小児科 准教授、診療部長 朴 仁三

[研究の目的]

稀である小児期発症の洞不全症候群の臨床像とナトリウム遺伝子異常の関連を検討する事

[研究の方法]

●対象となる患者さん

小児期発症の洞不全症候群の患者さんで、1998 年 1 月から 2016 年 9 月の間に徐脈に対する治療を受け、ナトリウムチャンネル異常に関する遺伝子検査を受けられた方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、ホルター心電図、電気生理学的検査結果、ペースメーカー情報、ナトリウムチャンネル遺伝子解析結果）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 竹内 大二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 11 月 2 日

乳腺・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 多発内分泌腫瘍症 2 型 (MEN2) の褐色細胞腫に対する治療経験

[研究機関] 東京女子医科大学病院 乳腺・内分泌外科

[研究責任者] 岡本高宏 東京女子医科大学 乳腺・内分泌外科 講座主任

[研究の目的]

多発内分泌腫瘍症 2 型 (MEN2) の褐色細胞腫に対する外科治療後の経過を討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

多発内分泌腫瘍症 2 型 (MEN2) の褐色細胞腫の患者さんで、1981 年 1 月 1 日から 2016 年 10 月 31 日の間に手術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、腫瘍部位、画像診断結果、血液・尿検査結果、遺伝子検査結果、術式、手術動画、摘出標本、病理診断、臨床経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 乳腺・内分泌外科

担当医師 吉田有策

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7617

平成 28 年 11 月 29 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 糸球体基底膜（GBM）病変を呈する遺伝性腎炎の腎予後の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科教授・講座主任

【研究の目的】

腎臓の組織の検査の結果、遺伝性腎炎（Alport 症候群、菲薄基底膜病、その他両群の診断に満たないが遺伝性腎炎を疑い）と診断された患者さんの中で、その病型により腎臓の機能の低下や尿蛋白の改善の違いがあるか調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1989 年から 2016 年までの間に、当施設において腎生検で遺伝性腎炎（Alport 症候群、菲薄基底膜病、遺伝性腎炎疑い）と診断された方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（糖尿病、高血圧、悪性腫瘍など過去にかかった病気）、家族歴、検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過、透析導入や死亡などの転帰、妊娠・出産、ドナーとなった場合の腎臓摘出後の検査、臨床経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科
電話 03-3353-8111

担当医師 佐藤尚代
FAX 03-3356-0293

平成 28 年 12 月 19 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 慢性肝疾患における肝硬度と食道静脈瘤との相関

【研究機関】 東京女子医科大学病院 消化器内科科

【研究責任者】 消化器内科 講座主任・教授 徳重克年

【研究の目的】

肝に振動波を射出し、肝内の伝播速度を超音波解析する肝硬度測定は、肝生検と異なり身体への侵襲なく肝臓の線維化の評価が可能である。肝硬度は肝硬変の合併症である食道静脈瘤の程度予測に役立つ可能性を考え、肝硬度と食道静脈瘤との相関について検討を行う。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

慢性肝疾患の患者さんで、平成 26 年 11 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日の間に肝機能障害の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢
- ②性別
- ③食道静脈瘤に関する内視鏡所見
- ④Fibro Scanによる肝硬度測定値
- ⑤肝硬変の重症度（Child-Pugh分類）
- ⑥慢性肝疾患の原因（ウィルス性、アルコール性、NAFLD、PBC、原因不明など）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器内科 担当医師 山本浩隆

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 11 月 4 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去に保管された心臓標本を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 位相差 X 線 CT 法による先天性心疾患における刺激伝導系の走行異常ならびに動脈管組織微細構造の研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院心臓血管外科

〔研究責任者〕 心臓血管外科 教授 山崎 健二

〔研究の目的〕

刺激伝導系の走行及び動脈管組織を同定するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1960 年 1 月から 2015 年 12 月の間に、先天性心疾患を有し病理解剖後、心臓標本保管に同意された患者さんを対象とする。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：心臓標本

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往手術、併存疾患

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 長嶋 光樹

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7321

平成 28 年 12 月 20 日

耳鼻咽喉科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当科における顎下腺唾石内視鏡下手術の治療成績に関する臨床研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院耳鼻咽喉科

【研究責任者】 野中 学 耳鼻咽喉科 臨床教授

【研究の目的】

顎下腺唾石における唾液腺内視鏡手術の治療成績を調査するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

顎下腺唾石症の患者さんで、平成 21 年 1 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日の間に唾液腺内視鏡の手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、既往歴、唾石の大きさ、唾石の存在部位、舌下小丘から唾石までの距離、内視鏡での摘出の可否、手術方法、内視鏡で摘出できなかった理由、合併症。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科 担当医師 近藤律男

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7351

平成 28 年 11 月 14 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 成人急性前骨髄球性白血病を対象とした第 III 相臨床試験、APL204、の長期予後調査（観察研究）

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 東京女子医科大学血液内科 教授 田中淳司

【研究の目的】 APL204 研究に参加していただいた患者さんについて、維持療法割付日を起点とし、再発の有無とあらゆる原因による死亡をイベントとする 7 年無再発生存率を調べ、ATRA 群に対する Am80 群での長期成績の改善の有無を検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

APL204 治療研究に参加同意の上、登録された患者さん

●利用するカルテ情報

生存の有無（日付）、再発の有無（再発日、再発の種類）、造血幹細胞移植施行の有無（施行日）と種類（その後の再発の有無と再発日）、晩期有害事象（悪性腫瘍、造血障害など）の有無と程度。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 田中紀奈

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 28 年 11 月 6 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 限局性腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘術後の予後予測因子として、栄養マーカーは有用であるか

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

限局性腎盂尿管癌に対する標準的治療は腎尿管全摘術である。しかし、術後の生命予後を予測する因子は限られており、経過観察の手法を改善させるために、予後予測因子のさらなる発見が求められている。過去に我々は癌による慢性炎症や、低栄養状態が術後の生命予後に影響を与えることを証明した。しかし、この手法は CT 検査など画像所見に基づいて定義されるものであり、検査の費用や放射線被爆など多少の負担を患者さんに与えることとなる。そこで今回我々は、日常的に採取する血液検査により先の研究にて定義されている栄養状態を示すマーカー（指標）を用い、この指標が手術後の予後予測因子として有用であるかどうかを調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2003 年 1 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日の間に限局性腎盂尿管癌に対して腎尿管全摘術を受けた方

●利用するカルテ情報

腎尿管全摘術施行時の年齢、性別、C 反応性蛋白値、白血球数、好中球数、リンパ球数、アルブミン値、総コレステロール値、血小板数、病期、異型度、腎尿管全摘術施行後の無再発期間（手術から再発するまでの期間）、癌特異的生存期間（手術から癌により死亡するまでの期間）、全生存期間（手術からあらゆる原因で死亡するまでの期間）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除し

ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

平成 28 年 11 月 6 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対する分子標的薬二次治療後の腫瘍縮小率に寄与する予後予測因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

転移性腎癌に対して、分子標的治療は生命予後を改善し、標準的な治療法である。1 次治療をまず行うが、無効となった場合は 2 次治療に移行する。分子標的薬治療によって腫瘍は縮小し、その比率を腫瘍縮小率と呼ぶ。この腫瘍縮小率は治療後の生命予後に強く関連する。2 次治療後においても、腫瘍縮小率はその後の生命予後に影響するが、腫瘍縮小率そのものを予測する因子は定かではない。そこで今回、我々は転移性腎癌に対する二次分子標的薬治療後の腫瘍縮小率の予後予測因子として、治療開始前の血液検査データや画像所見などから得られる因子が有用かどうか調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2007 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に二次分子標的薬治療を受けた方

●利用するカルテ情報

二次分子標的薬治療時の年齢、性別、MSKCC risk(転移性腎癌の予後予測に用いられる)、転移臓器の数、血清 C 反応性蛋白値、癌異型度、一次と二次治療に用いられた分子標的薬の種類、二次分子標的薬治療後の無増悪生存期間(治療開始後から癌が増大するまでの期間)、全生存期間(治療開始後からあらゆる原因で死亡するまでの期間)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

H4 12/31

平成 28 年 11 月 6 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対する分子標的薬治療後の予後予測因子としてmodified Glasgow Prognostic Scoreの変化率は有用か

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

転移性腎癌に対して、分子標的治療は生命予後を改善し、標準的な治療法である。治療開始後の予後予測因子として、modified Glasgow Prognostic Score(以下 mGPS)という指標があり、これは癌による炎症や低栄養状態をスコア化したものである。しかし、治療開始時の mGPS が予後予測に有用であることは実証されているが、治療中におけるその変化率の有用性は定かではない。そこで今回、我々は転移性腎癌に対する分子標的薬治療後の予後予測因子として、治療中の mGPS の変化率が有用な予後予測因子であるかどうか調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2007 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に分子標的薬治療を受けた方

●利用するカルテ情報

分子標的薬治療時の年齢、性別、MSKCC risk(転移性腎癌の予後予測に用いられる)、転移臓器の数、血清 C 反応性蛋白値、血清アルブミン値、用いられた分子標的薬の種類、分子標的薬治療後の無増悪生存期間(治療開始後から癌が増大するまでの期間)、全生存期間(治療開始後からあらゆる原因で死亡するまでの期間)、治療中の最低 C 反応性蛋白値、最高アルブミン値、治療開始 3 か月時点での血清 C 反応性蛋白値とアルブミン値。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報はありません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

平成 28 年 12 月 20 日

耳鼻咽喉科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 CT で明らかな唾石が描出されない耳下腺腫脹に対する唾液腺内視鏡の有用性に関する臨床研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院耳鼻咽喉科

【研究責任者】 野中 学 耳鼻咽喉科 臨床教授

【研究の目的】

CD で唾石が確認できない耳下腺腫脹において、唾液腺内視鏡手術の有用性を調査するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

CT で明らかな唾石が描出されない耳下腺腫脹のあった患者さんで、平成 21 年 1 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日の間に手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、既往歴、診断、手術方法、手術所見、合併症、術後経過。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科 担当医師 近藤律男

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7351

平成 28 年 12 月 22 日

東京女子医科大学病院循環器内科に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心筋症患者における心筋ストレインについての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 循環器内科

〔研究責任者〕 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

心筋症における心筋ストレイン(心筋の歪み)と心筋性状との関連を検討し、
病態との関係を調べること

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心筋症の患者さんで、平成 28 年 5 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日の間に東京女子医科大学病院で心臓 MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

患者背景（年齢、性別、既往歴、家族歴）

検査内容（血液検査、心電図検査、胸部レントゲン、心臓超音波検査、心臓 MRI 検査）

治療内容（薬物治療）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 渡邊 絵里

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 11 月 30 日

遺伝子医療センターに通院中の患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 当院での性分化疾患の管理の実例に関する後方視的研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院遺伝子医療センター

〔研究責任者〕 斎藤加代子

〔研究の目的〕 当院へ通院中の性分化疾患で複数診療科が介入し、疾患受容を促した症例について各診療科及び多職種への介入の在り方について後方視的に検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2010年4月から2016年7月までの間に東京女子医科大学産婦人科及び遺伝子医療センターに通院した性分化疾患の方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、家族構成、既往歴、疾患名、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、）手術名、治療内容、受け入れ状況、診断に対する思い、社会的支援の有無、疾患の認識、医療者の言動

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院遺伝子医療センター 担当医師 秋澤叔香

電話 03-33538111 FAX 03-5269-7594

集中治療室重症症例登録に関するお知らせ

研究の目的

日本集中治療医学会は、我が国における重症患者管理施設の診療体制を明らかにするために、ICU の患者情報管理システムを利用して、ICU の機能評価に係る情報を収集し、解析を行っております。本調査研究は国内の多くの施設が共同し、その結果を解析して集中治療室の機能評価を標準化する予定です。本研究は当病院倫理委員会の承認を得て行っております。

研究の方法

平成 29 年 1 月 1 日以降に当院集中治療室に入室され治療を受けられた方が対象となります。既にあるデータベースを元に重症度や転帰などを解析します。本調査は純粋な調査であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が同定されることは決してありません。

もしもご自身、あるいは家族の情報を本調査に登録されたくない場合には、下記連絡先までご連絡下さい。撤回を希望される患者様の情報は削除し、研究データとして使用することはありません。また、撤回により何ら不利益を被ることはありません。なお、ICU 在室開始後 1 年以内にお申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

東京女子医科大学 八千代医療センター 救急科・集中治療部 科長

貞広 智仁

電話:047-450-6000(代)

平成 28 年 12 月 13 日

眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] OCT angiography と蛍光眼底造影検査所見の比較

[研究機関] 東京女子医科大学病院眼科

[研究責任者] 眼科 教授・講座主任 飯田知弘

[研究の目的]

非侵襲的検査である OCT angiography と従来からの造影剤を使用する蛍光眼底造影検査を比較し OCT angiography の有用性と限界を明らかにすること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

網膜静脈閉塞症、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性の患者さんで、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日の期間に OCT angiography と蛍光眼底造影検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（OCT angiography および蛍光眼底造影写真）。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*ご不明な点は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院眼科 担当医師 丸子一朗

電話 03-3351-8111 FAX 03-5269-7343

平成 28 年 11 月 8 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 Fontan 術後患者における右房内乱流が上室性不整脈に及ぼす影響の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 循環器小児科 准教授・診療部長 朴仁三

〔研究の目的〕

Fontan 手術後の患者さんにおいて、右心房を起源とする不整脈が心房内に生じている乱流と関係があるかどうかを調査します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

Fontan 手術後の患者さんで、平成 19 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に心臓 MRI 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（心臓 MRI 検査、心臓電気生理学的検査、心臓カテーテル検査、血液検査、心電図検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 高橋辰徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441